第十七講・詩

◇詩とは

詩とは、さまざまなできごとや自然の風景など、作者が見たことや感動したことを、短いことばで表現した文学です。

◇詩の重要事項（じこう）

① 詩の分類

○形式から
・定型詩…音数や行数に一定の決まりのあるもの。
・自由詩…音数や行数に決まりのないもの。

○用語から
・口語詩…ふだん話をするときのことばで書かれたもの。
・文語詩…昔の文章のことばで書かれたもの。

○内容から
・叙情詩（じょじょうし）…作者の気持ちや感情をうたったもの。
・叙景詩…景色や自然をうたったもの。
・叙事詩…物語や事件のあらすじをうたったもの。

＊形式と用語をあわせて「口語自由詩」「文語定型詩」などといいます。現代詩の多くは口語自由詩で、内容的には叙情詩です。

② 連について

何行かがひとまとまりになって連を作ります。連は、ふつうの文章の段落（だんらく）にあたるもので、連と連の間は、ふつう一行あいています。

③ 表現技法

短いことばで感動を表現するために、さまざまな表現技法が用いられます。

○直喩（ちょくゆ）…「〜ようだ」などのことばを使ってたとえる。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

例　もみじのような手

○隠喩…「〜ようだ」などのことばを使わずにたとえる。

例　海は地球のお母さん

○擬人法…人以外のものを人のように表現する。

例　風がわたしにささやいた

○対句法…調子や内容が対になる句や行を並べる。

例　野に花がさく／山に若葉が芽ぶく

○体言止め…文末を体言（名詞）で止めて、イメージを広げる。

例　寄せては返す波

○反復法…同じ語句をくり返す。

例　さあ旅立とう　さあ旅立とう

○倒置法…ことばの順序をふつうとは逆にして、強調する。

例　歩き続けよう　夢に向かって

○省略法…ことばを省いて余いんをもたせ、印象を強める。

例　なみだをこらえて――

○呼びかけ…呼びかけて、そのものに対する親しみを表現する。

例　おおい雲よ　ぼくはここだよ

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

一題目　次の詩を読んで、あとの問いに答えなさい。

少年よ

田代（たしろ）しゅうじ

少年よ
ボールが　君のグローブを　とびだしたのは
おれのせいじゃない
グローブが悪かったんだ　なんていうより
くちびるをかめ
もっとくちびるをつよくかむがよい
いまにも
あふれそうな涙（なみだ）を　ぐっとおさえて
くちびるをかんでいる
君が好きだ

少年よ
三塁（さんるい）は　君のものだ
エラーがかさなって
ベンチにひっこまされたからといって
ひとをうらむな
ひとの[　　]を　待つな

少年よ
ベンチでくちびるをかんでいる
君が好きだ
ベンチにひっこんでいても　いつも
ボールにむかって　心はとびついていけ
君は三塁をまもって
走り　捕球（ほきゅう）し　投げる
少年よ
明日にむかって
ボールを追え

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　この詩を用語、形式から分類すると、次のどれにあたりますか。記号で答えなさい。

ア　口語自由詩　**イ**　口語定型詩
ウ　文語自由詩　**エ**　文語定型詩

問二　この詩は全部で何連からできていますか。漢数字で答えなさい。

連

問三　□にあてはまることばを詩の中から三字で書きぬきなさい。

問四　作者は少年にどんなことを言おうとしているのですか。最も適当なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　野球は集団競技なので、自分がうまくいかないからといって泣いたりせず、チームのことを第一に考えることが大切である。

イ　失敗したからといって落ちこんだりせず、失敗したことは早く忘(わす)れて、明日にむかって歩んでいくことが大切である。

ウ　失敗を認(みと)めてその責任を自分で引き受け、くじけずにがんばっていこうという心構えをもつことが大切である。

エ　人は失敗を重ねてこそ成長できるのだから、失敗したことをチャンスだと思って前進することが大切である。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　次の詩を読んで、あとの問いに答えなさい。

空

菊池敏子（きくちとしこ）

こんなにもほがらかな空の　どこに
*1綻び（ほころび）があるというのだろう
いそいで繕い（つくろい）にゆかなくては――
とでもいうふうに
①白い糸をつけた　②銀の針（はり）のかたちして
ヒコーキが飛んでゆく

空は　きょう
わたしに気づかせたかったのだ
*2シンプルな演出（えんしゅつ）で
思いもかけぬよい光景（シーン）を目撃（もくげき）させ
どれほどのあいだ
わたしがあくせく
空を忘れて（わすれて）過ごしていたか　を

③のどが渇き（かわき）そうな　空の
まっさおな上機嫌（じょうきげん）に
感染（かんせん）してしまったらしい
わたしの　いちにち

＊１綻び＝糸でぬった部分がほどけたところ。ほつれ。
＊２シンプル＝単純（たんじゅん）な様子。簡単（かんたん）。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　この詩はいくつの連（まとまり）からできていますか。漢数字で答えなさい。

□連

問二　――線①「白い糸」、②「銀の針」は、それぞれ何をたとえていると考えられますか。漢字で書きなさい。

①□
②□

問三　――線③「のどが渇きそうな……感染してしまったらしい」とありますが、それまで作者はどうだったのですか。次の□にあてはまることばを詩の中から書きぬきなさい。

□□□□過ごしていた。

問四　この詩で使われている表現技法を次のうちからすべて選び、記号で答えなさい。

ア　擬人法（ぎじん）　**イ**　倒置法（とうち）　**ウ**　反復法
エ　体言止め　**オ**　対句法（ついく）

問五　この詩からわかる作者の思いを説明したものとして最も適当なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　いつもとちがった空の様子を見て心配になっている。
イ　目を見はるようなきれいな空の様子を見ておどろいている。
ウ　思いがけず気持ちのよい空の様子を見てうれしくなっている。
エ　何もなやみのなさそうなすっきりした空の様子を見てうらやましく思っている。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

三題目　次の詩を読んで、あとの問いに答えなさい。

雑草　大関松三郎（おおぜきまつさぶろう）

おれは雑草になりたくないな
だれからもきらわれ
芽をだしても　すぐ［　　］しまう
やっと　なっぱのかげにかくれて
　　大きくなったと思っても
ちょこっと　こっそり咲（さ）かせた花がみつかれば
すぐ「こいつめ」と［　　］しまう
だれからもきらわれ
だれからもにくまれ
＊たいひの山につみこまれて　くさっていく
おれは　①こんな雑草になりたくないな
②しかし　どこから種がとんでくるんか
③取っても　取っても
よくもまあ　たえないものだ
かわいがられている野菜なんかより
④よっぽど丈夫（じょうぶ）な根っこをはって生えてくる雑草
強い雑草
強くて　にくまれもんの雑草

＊たいひ＝わらや落ち葉などを積み重ねてくさらせたもの。肥料として使う。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　この詩を、用語と形式のうえから分類したものとしてよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　文語定型詩　**イ**　口語定型詩
ウ　文語自由詩　**エ**　口語自由詩

□

問二　詩の中にある□には同じことばが入ります。最も適当なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　ひっこぬかれて　**イ**　大切にされて
ウ　ほっておかれて　**エ**　笑われて

□

問三　――線①「こんな」の指している部分はどこからどこまでですか。最も適当なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　２行目から６行目まで
イ　２行目から９行目まで
ウ　４行目から６行目まで
エ　７行目から９行目まで

□

問四　――線②「しかし」より前とあとでは雑草に対する「おれ」の心情はどのように変化していますか。最も適当なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　前でも雑草に対して悪い印象をもっているが、あとではさらに悪い印象をもつようになっている。

イ　前では雑草に対して悪い印象をもっているが、あとでは雑草のしぶとさに気づき、少し見直している。

ウ　前では雑草に対して良い印象をもっているが、あとでは野菜と比べておとると批判(ひはん)する

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

気持ちになっている。

エ　前では雑草に対して良い印象をもっているが、あとでは雑草をきらうようになっている。

□

問五　――線③・④に使われている表現技法を次のうちからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア　擬人法(ぎじん)　イ　直喩法(ちょくゆ)　ウ　倒置法(とうち)

エ　体言止め　オ　反復法

③□

④□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十七講　詩

一題目

問一　ア
問二　三（連）
問三　エラー
問四　ウ

二題目

問一　三（連）
問二　①　飛行機雲
②　飛行機
問三　あくせく（過ごしていた。）
問四　ア・イ・エ　（順不同）
問五　ウ

三題目

問一　エ
問二　ア
問三　イ
問四　イ
問五　③　オ
④　エ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。